

● もちろん指揮する人も必要ですが、避難者が増えたときに自分のスペースを融通したり、段ボールベッドの設営をしたりして、新たな行動に移るときに、「～してくれ」ではなく、現状を良くするために、自分はどう動くかを意識して、知恵を出し合うことが大切だと思います。

子どもたちには、訓練や授業を通して、“お互いの存在を尊重しながら、仲間と協働して問題を解決する力”を学び、危機のときにこそ、進んで困っている人を助けられるようになってもらいたいと考えています。



お互いを知り、
支え合える
関係をつくる

相原元橋町会 会長 近藤修氏

台風の日、私は外出していましたが、市の避難勧告が出たことを緊急速報メールで知り、急いで帰宅しました。午後5時過ぎに洪水時集合場所となった農協(JA町田市堺支店)の様子を見に行きましたが、既に何人の方が避難されていました。午後7時ごろには約50人が農協に集まっており、ほぼ満杯の状態、これから避難に来られる方は、別の施設への避難を案内するようになると聞きました。雨が強まる中、この近くにお住まいの方が遠く離れた施設に向かうのは危ないと思い、農協から約200m離れた元橋会館を開放しても構わないと、市へ申し出ました。

その後、元橋会館を開放し、近所にお住まいのお年寄りの方や相原の西端にある武蔵岡団地にお住まいのご夫婦など、町会の加入を問わず、避難者を受け入れました。受け入れの際には、農協から毛布等の物資をお借りした一方、農協で不足していた物資等を元橋会館から貸し出すなどして過ごしました。

——防災意識が変わってきている今こそ、万全な防災体制を

昨年9月に発生した台風第15号が日本各地に甚大な被害を及ぼしたこともあり、11月に実施した防災訓練の参加者がかなり増えました。災害に対する皆さんの危機意識は非常に高まっていると思います。お年寄りも早くから避難されていましたし、若い方やペット連れの方もおられました。相原は比較的被害が少ないと思われていますが、台風第19号では土砂崩れや道路冠水等がありましたので、より一層の対策が必要です。

台風15号の暴風や19号の豪雨は、今まで経験したことの無いレベルであり、従来の対策だけでは足りないと感じることもありました。

町会では毎年、防災備蓄品の点検をしています。避難が長期化した場合には物資が足りないので買い足したり、停電に備えて発電機を購入する必要があると思いました。また、私どもの町会は自主防災組織のメンバーが毎年変わるので、恒常的な防災組織の組成ができないか検討中です。防災意識が変わってきている今こそ、万全な防災体制を構築すべきだと思っています。

災害時は地域の皆さんが助け合うことが重要です。まずは、地域の方同士がお互いを知り、支え合える関係をつくれるよう、地域の行事に積極的に参加して欲しいですね。また、市や町田消防署、町田市消防団の協力を得て、避難施設開設訓練や町会自主防災訓練等も実施しているので、これを機により多くの方に参加していただき、地域の防災力を高められたらと考えています。

災害に備える

自分で守る 自助

避難に必要な非常持ち出し品を準備しましょう

まずは命を守ることが最優先ですが、避難施設へ避難する際は、非常持ち出し品を持っていきましょう。避難施設には、最低限の物資しか備蓄されていません。水・食料品や着替え、スマートフォンの充電器等をリュック等の両手があぐものに入れ、いざというとき持ち出せるように事前に用意しておきましょう。



みんなで守る 共助

大規模災害の際は、行政だけでは被害を最小限に食い止めることは困難です。過去の災害でも、地域住民の「共助」が多くの命を救った事例があります。お年寄りや小さな子どもがいる家庭等、地域ぐるみで支えられるよう、普段から隣近所で協力し合ひましょう。

能ヶ谷町内会・自主防災隊の取り組みをご紹介します！

● 防災訓練の必要性を考える場～鶴川第二小学校地区総合防災訓練

地域への仲間入りの一歩として、自主防災隊と教員が連携してマンホールトイレや手押しポンプ等の使い方を5・6年生に教えています。行政がいなくても地域住民主体で避難施設開設等ができるよう訓練しています。

● 地域独自の見守り～災害時の安否確認と避難支援

災害時の安否確認や救出、避難施設への誘導・付き添い等の支援が必要な方の名簿を作成し、戸別訪問で詳細を聞き取るなど、地域独自の見守りの仕組みを構築しています。

防災フェアを開催しています

備蓄品など家庭での震災対策に関する展示や防災マップの配布等を行います。

日時 1月17日(金)まで
午前8時30分～午後5時
(17日は午後4時30分まで)
会場 イベントスタジオ (市庁舎1階)
問 防災課 ☎724・2107

● 地域防災にあなたの力を生かしませんか？

- ①わがまちを災害から守る！「町田市消防団」
問 防災課 ☎724・3254
- ②防災に興味のある小・中学生、高校生募集！
「町田消防少年団」
問 町田消防署 ☎794・0119
- ③専門知識を生かして、消防活動等を支援しませんか？
「東京消防庁災害時支援ボランティア」
問 町田消防署 ☎794・0119

※要件等の詳細は、①町田市ホームページ②③町田消防署ホームページをご覧ください。